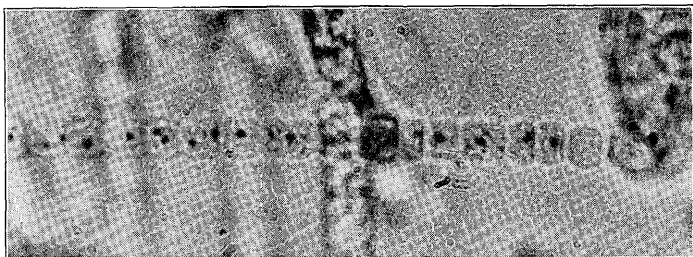


8-10. *Cylindrospermum* sp. (Nostocaceae)

温室内ノ植木鉢ノ土上ニ濃藍綠色ノ膜狀ヲシテ居ルモノヲ採ツタ。概形ハ念珠藻ニ似テ淡イ寒天質ニヨツテ包マル。細胞ハ短中圓筒狀ヲナシ、念珠ノ一端ニハ小判形ノ細胞アリ、更ニソノ端ニ小サナ細胞ガ一個ヅ、生ジテキル、前者ハコレヲ休眠孢子 (Hypnospor) ト稱シ、二層ノ膜ヲ有シ、或ル休眠期間ガ過ギルト膜ハ破レテ新植物體ヲ發芽スル。後者ハ異質細胞 (Heterocyst or Grenz-zelle) デアツテコレガ念珠ノ一端ニノミ生ル事ガ本屬ノ特徴トナツテキル。10 圖ハ倍率ヲ大ニシテ寫シタ爲メ

Fig. 10. *Cylindrospermum* sp. ca × 1500.

寫眞ノ明瞭サヲ缺クガ、細胞ノ Centrioplasma デ、Endoplast ノ間ニ介シテキル Volutin Körper ヲ染色シタモノデアツテ黒イ點狀ニ見エルモノガコレデアル。新鮮ナ個體ニメチレンブラウ (0.1% 水溶液) ヲ作用セシメ、次ニ 1% ノ硫酸ヲ滴下スレバ Volutin Körper ノミ濃藍色ニ染マル。

## しづゐ横濱市内ニ産ス

久内 清 孝

Kiyotaka HISAUCHI: New localities of *Scirpus nipponicus*  
MAKINO in Japan.

しづゐハ我邦デハ 1904 年 植物學雜誌 XVIII, p. 112 ニ於テ牧野博士ガ *Scirpus nipponicus* MAKINO ノ學名デ記載發表サルタルニヨリ始メテ世ニ知ラル。然シテ磐城國八幡村 (1890) 及下總國間々 (1893) ニ採集サレタモノガ基本標本デアツテ其後博士ハ武州井ノ頭公園ニ於テ其ノ盛ニニ發育スルヲ見タル事アルヲ語ラレタリ。余ハ曾テ飯柴永吉氏ヨリ仙臺附近ニ於テ氏ノ採集サレタルモノヲ贈ラレタル事アルモ其標本ハ東大植物教室ヘ寄贈シ置キタリ。マタ余

ハ會テ之ヲ上州館林ニ於テ得タルコトアリシガ、本年秋、横濱市内神奈川區三澤池ニ於テ之ヲ得タリ。從來ノ產地ハ余ノ知レル範圍ニ於テハ東京以北ニ限ラレシニ今、西ノ方神奈川縣下ニ之ヲ見ルニ至レリ。本植物ハ一見さんかく井ニ彷彿タルモノアルヲ以テ多クノ採集者ハ之ヲ見逃シ居ルナルベク、從ツテ各地ノ採集家ノ所藏品ニヨリ、意外ノ產地ガ判明スルニアラザルナキヤヲ疑フモノナリ。ナントナレバ前記三澤池ハ二十年以前ヨリ余ノ好ンデ出沒シタル所ニシテ、此處ニ採集セル回数ハ數十回ニ及ベルニ今日迄氣付カザリシニ徴スレバナリ。

學名ニ就テハ本田博士ガ植物學雜誌 XLIV, p. 318 ニ於テ *Scirpus depauperatus* KOMAROV ノ方ガ先ナルモ、他ノ植物ニ此ノ名ノ使用サレ居ル爲牧野

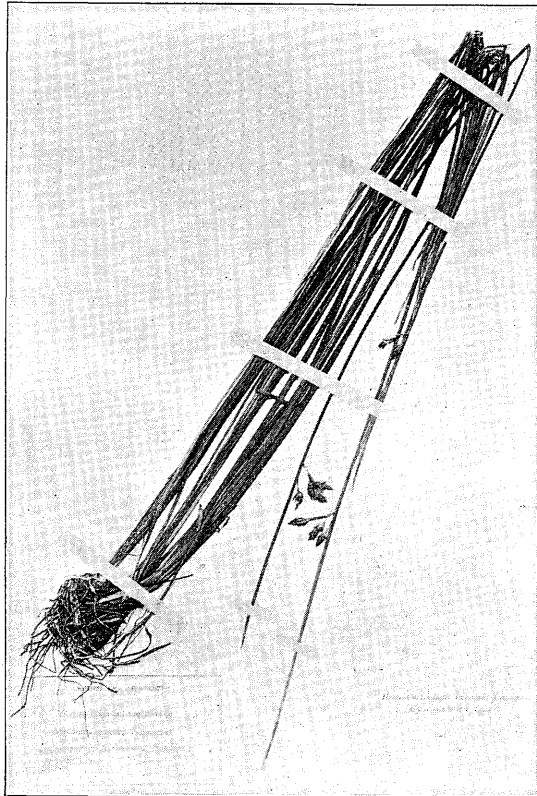


Fig. 1 *Scirpus nipponicus* MAKINO しづゐ

者ハコノ事實ヲ有無ヲ牧野先生ニ照會シタルニ牧野先生ハ“今能ク覺えてはゐ

先生ノ命名ガ有效ナリト斷ゼラレタル通りナリ。然レ共 KOMAROV 氏ハ “valde similis *S. maritimus*, L.” ナル附記ヲナセル爲メ果シテ *S. depauperatus* KOMAR. ガレづゐノ異名ナリヤヲ疑ヘルモ K. 氏ヨリ東大ヘ寄贈サレタル標本ヲ見ルニ及ビ同氏ノ記スル所ノ當否ハ別トシテ確ニソレニ疑ヒナキヲ知ルヲ得タリ。依ツテ K. 氏ニ從ヘバ本種ハ國外ニ於テハ Amur 地方ニ産スト云フヨリモ寧ロ同地方ガ主產地ナルノ感アリ。

本邦ニ於テハ現在迄知ラレタル所ニヨレバ横濱ハ新產地ニ該當スル次第ニテ、此外 KOMAROV 氏ハ日本土佐ニテ牧野先生ガ採ラタル標本アリト稱セリ。依テ筆

ませんがコマロフがあのように書いてゐれば多分其標本は私がマキシモキッチ氏に送つたものでせう。同氏へは澤山の土佐の標本を送つた事があります。其中へ東京附近で採つた品も交つて居たのですが私の今の記憶では此シヅキを始めて私の採つたのは明治廿二三年頃の事でそれを市川の池で採つたと覺えてゐます。マキシモキッチ氏へは土佐標本と一緒に送つたのですから此市川の品が土佐とラベルがなつたのではないかと思ひます（無論アチラで）。特に從來もこんな事があつたやうですつまり産地が間違つたのです。”ト回答サレタル事實ニ鑑ミ土佐説ハ疑問トナスヲ以テ最常識的ナリト信ズ。

然レ共東大所藏ニシテ前原勘次郎氏採集ニカ、ル標本ニヨレバ熊本縣下ニモ産スル事確實ナレバ其本邦ニ於ケル分布ハ少クトモ北海道、本州北部ヨリ表日本ヲ通過シテ西南方九州ニ及ブモノノ如シ、サレバ或ハ四國ニモ及ブヤモ計ラレズ、サレド其本據ハあむうゝる地方ナルベケレバ或ハ水禽ノ移動ニ伴ヒ其散布ヲ見ルニ非ザルナキ歟。ナントナレバ關東地方ニ於テハ間歇的發生ヲナスニ似タレバナリ。其一例トシテ牧野博士ハ數年前東京在井ノ頭ニ於テ其多産スルヲ見タルニ其翌年ニハ其隻影ダニ見出シ得ザリシト云フ事實アレバナリ。

尙しづみナル和名ハ牧野先生ノ命名ニカ、リ其原意ハ水ノ中ノ井ト云フ意味ニテしづみハしづく（水滴）ナドト縁ノアル語ノ由。マタ植物名彙ニみづ井トアルハ誤ノ由。依ツテ牧野先生ヨリ承リタル所ヲ記シ諸賢ノ參考ニ供ス。

### Summary

**Scirpus nipponicus** MAKINO in Bot. Mag. Tokyo, IX, p. 311 (1895) & l.c. XV-III, p. 112 (1904)—HONDA in Bot. Mag. Tokyo XLIV, p. 318 (1930)—H. HARA in The Journal of Japanese Botany IX No. 8, p. 520 (1933.)

Syn, *Scirpus depauperatus* (non POIR) KOMAROV in Flora Manchuriae (Acta Horti Petrop. XX (1901) p. 345.)

Our knowledge of distribution of this plant in Japan is very poor, but it has been reported from our north eastern province and Hokkaido. It is however found, for the first time, in Yokohama last year. Dr. KOMAROV (in Flora Manchuriae) states that he has Dr. MAKINO's specimen collected in Prov. Tosa in Shikoku of which Dr. MAKINO's memory is quite faint. Recently Mr. K. MAEBARA has collected in Prov. Higo in Kyushu and this is the first discovery in that Island.